

堺IPCC PRESS

堺でがんばる企業応援マガジン



Special Feature

「挑む」

この企業にこの人あり!

前例や常識にとらわれない
独創的な発想で新事業の立ち上げも

社会福祉法人 美木多園
西尾 正敏さん

SAKAIもの新発見

透明なエポキシレジンに
思い出の品を埋め込む特注品も

Fullcolor株式会社

CASE 01:
株式会社 エミリエ

父の長年の思いを今の時代に叶えたものづくりへの挑戦、
そして、IT業界から挑んだ福祉事業で若き社長が見たものとは？



CASE 02:
株式会社 Aveire

家業の堺刃物の 技術を生かして

新製品づくりに挑戦



医療分野で長年の実績を積み重ねてきた株式会社エミリエ。家業の刃物づくりを「医療刃物」という形で継承したほか、「誰もが簡単に包丁を研ぐことができるようにならないか」と語っていた父の念願を叶えるべく、新たな製品づくりに挑戦しました。

株式会社エミリエ
代表取締役
河井 健男

医療向け手洗いシステムなど
医療機器の開発・製造で成長

医療設備機器メーカーに営業職として勤めていた河井健男社長が、医療現場から聞こえてくるさまざまなニーズに応えるものづくりをしたいと、2005年に創業したのが株式会社エミリエです（当時はエミリエ医療システム）。ソープディスペンサーやアルコール消毒液ディスペンサーといった製品に始まり、医療向け手洗いユニットなど、医療や介護、食品の分野で重視される衛生的な水環境の実現を目指して事業を拡大してきました。



顧客の「こんなものが欲しい」に応えてきた自社内の開発部門。

ブルと薬液を混合し供給する「微細気泡混入水の供給装置」は特許を取得した技術で、それを用いた「スパイラルシャワー」や手洗い装置の「ファイナルフォー」は高い評価を得ています。

「当社は開発型企業なので、お客様からの『こんなものがあれば嬉しい』という声を大切にしているものづくりを行っています。それが当社が一番の強みともいえます」と河井社長は語っています。

それは2017年に新しく立ち上げた刃物事業部で開発を進める医療刃物においても同じでした。

高い技術と専門性が必要な医療刃物の開発に挑戦

そもそも河井社長が医療業界への参入を考えたきっかけが、実家の家業である堺刃物で医療刃物を展開できないかと考えたことでした。その思いを実現すべくスタートしたのが刃物事業部で、メスやクーパーといった医療刃物の開発、製造を行っています。脳を包む軟膜・くも膜を切るハサミなど人命に関わる医療用具を扱うということで、医療機器製造業や医療機器製造販売業といった各種許可証の取得が必要だったことや、今日求められる医療刃物がどのようなものかといった課題を解決するのに5年という年月を要してのスタートでした。

「医療刃物は医師相手の営業となりますから簡単にはいきませんが、当社ですらに医療機器で長年の実績があり、そこ

で培った人脈や信頼関係によって、今では『刃先をもう少し細くできないか』『この角度を変えられないか』といった個別の注文もいただくことも増えています」と河井社長。立ち上げから5年足らずで、それだけの信頼を獲得できたのは、同社が誇る堺刃物の技術力もあります。

「刃物類は売ればなく、研ぎ直しというメンテナンスをしっかりと行うこととお客様の安心につながっています。時には、当社の顧客ではない遠い病院から研ぎ直しを依頼されることもあります」。

同社が医療機器修理業の許可も取得しているのはこのためです。同社がオリジナルに開発した「救急救命ハサミ」も、洋服を切る際に身体を傷つけないように丸くした先がネジ式で外せるのは、研ぎ直しをしやすいようにという発想から生まれたものです。

そして、医師たちから持ち込まれる他社の製品のメンテナンスを行うことで、自社の技術力の向上にもつながったと河井社長は語っています。

誰もが刃物を研ぎ直せる「治具付研磨機」を新たに開発

この同社が重視するメンテナンスという観点から、新たな挑戦として誕生したのは「治具付研磨機」です。

「父が20年以上前から『電動鉛筆削り器のように誰でも簡単に包丁が研げないか』と言っていました。包丁を購入されたお客様からも『研ぎ方がわからない』



同社の堺刃物館三宝店（写真左）では、一般の人も「治具付研磨機」を使った砥ぎ体験ができる。

という声が多くあります。難しいのは10円玉2枚分を挟んだぐらいと言われる角度で砥石に刃を当てることですが、この研磨機ではその角度に砥石が固定されているため、刃を当てるだけで、失敗することなく研ぐことができます。誰でも簡単に研ぎ直しできれば、堺刃物の需要もますます高まることでしょう。

すでに食品メーカーなどで採用もされていますが、河井社長は一般の方にも使ってもらえればと同社の堺刃物館三宝店での活用を始めました。実際に今年4月に行われたオープンファクトリーでは、訪れた人々から「職人になったみたい」や「切れ味が戻って感動した」という声が多く寄せられたといいます。

「常々、『うちしかできないことをやれ』と言ってきました。これからお客様の声に耳を傾け、当社しかできないものづくりに挑戦していきたいと思えます」。

特集企業のターニングポイント

医療機器を立ち上げ、手洗い装置やスパイラルシャワーで事業の安定化を図った(株)エミリエ。新たに、家業である堺刃物の伝統を医療分野に生かすべく、刃物事業部を立ち上げ、医療刃物の開発・製造・修理に展開しています。

株式会社エミリエ

本社/堺市堺区宿屋町西2-2-22-210
☎072-204-1100

- 設立/2005年 ●資本金/1,000万円 ●従業員数/18名
- 事業内容/手術室・病棟用手洗装置などの医療機器や周辺機器、消耗品の開発・製造・販売、堺刃物の製造・販売、医療刃物(鋼製小物)の販売・修理など



(株)エミリエ ホームページ



同社さかしの掲載ページ



就労継続支援B型事業所「Sunny」にて、袋詰の作業を行っている利用者の皆さん。

IT事業に加えて 就労継続支援事業も 夢は福祉の待遇改善

14歳から独学でホームページの制作を始めたという畠中祐太社長。そのスキルを活かしてWEBやSNSを活用したコンサルティング事業を展開してきましたが、3年前から福祉事業に挑戦。就労継続支援B型事業所を開所しています。

型にはまらないWEB制作で
実績と信頼を蓄積

畠中祐太社長が起業したのは19歳。当初はアパレル事業でのスタートだったといいますが、「大学に入学したものの自分の力で勝

張らせるようなページは訪問者の離脱率を上げるからと、ずっと以前から簡潔なページづくりを提案していました。当初は依頼主も懐疑的だったそうですが、実際に問合せ数も売上げも倍増し喜ばれた事例もあるといえます。

障がいを持つ家族をきっかけに
就労継続支援事業所を開所

今では、動画配信を含めたSNSの活用による販促や採用活動を支援するコンサルティング事業も好評です。「動画配信によって収益を出そうとしている個人に向けたサポートも行っています。例えば、ネットで爆発的に話題になって一時的に100万回再生されたとしても、動画の内容に関心のない人を集めた100万回では意味はなく、映画やアニメ、スポーツといった自分の強みと

する分野で安定して1万回再生される動画の方が、広告主がきます。カリスマ的人気ユーチューバーにならずとも収益を上げられるノウハウを提供しているんです。」

このようにずっとITの世界に身を置いてきた畠中社長が、3年前に就労継続支援B型事業所「Sunny」を立ち上げたのは、障がいを持つ家族がきっかけでした。「支援学校を卒業したあとの進路を考えても就職はなかなか難しい。その時に就労するための訓練場所として、就労継続支援事業A型・B型というものがあまることを知りました。そこで、堺ではあまりないパソコンが使える作業所を作ろうと思いついたのです。パソコンスキルを習得すれば、電車に乗ることや人混みが苦手な人もフリーランサーとして自宅で就労することができると考えたのですが、実際はみんなが作業所に集まって内職仕事をする方が楽しいようです(笑)。「Sunny」の雰囲気はいつも明るいですよ。」

人を率いる経営者として成長し
余力で新たな「挑戦」の準備を

全く異なる分野への参入で戸惑うことはなかったのか尋ねると、畠中社長は「行政と関わるのが多く、慣れなくて大変です。あと、利用者の方たちとどう接したらいいのかということも最初は戸惑いました。しかし、「人と人」として接する

株式会社 Aveire

代表取締役 畠中 祐太

負してみたいと中退し、最初は中国から仕入れた洋服をECサイトで販売していましたが失敗。個人で登録したクラウドソーシングで、WEB制作の実績が評価され表彰されたことから、本格的にWEB制作で事業を展開することにしました。当社の強みは、WEBとはこういうものという既成概念に捉われないWEB設計やマーケティングを提案できることです。私自身が独学でWEB制作を習得したため、ルールや型がないんです。最も大事なことはユーザーにとっての見やすさや使いやすさだと考えています」と畠中社長。具体的には、今では主流となっていますが、スクロールをずっと下に引

ことが大切と気付いてからは、良い関係になったと思います」と答えています。

畠中社長が同事業所を始めるにあたって決めていたのは、福祉事業だからこれではできないとか、利用者がやりたいことを最初から無理と決めつけないということでした。昨年11月に開催したハンドメイドショップも、同所の特別プログラムとして制作したハンドメイド作品を販売したいという利用者の声から始まったものです。

「ハンドメイド商品が思った以上に売れたほか、手作りパンは売り場に並べたとたん完売で、利用者みんなが店頭で堂々と立っていたのが印象的でした。人間の可能性って無限大だと思いますね。」

「Sunny」ではハンドメイド以外にも、エクセルやワードの検定試験合格を目指す特別プログラムがあり、今年はい名の合格者を出しています。

福祉事業を通して、自分自身の人間的な成長を実感すると畠中社長。ハンドメイドショップは他の作業所とも連携して地域の一大イベントに発展できないかと構想しています。そして、「3K」と言われる福祉業界の待遇改善をまず自社から実践しながら、いつか収益性の高い業界へと仕組みを変えられたらと語っています。

経営者としての成長を目指し「任せる勇氣」を持ちたいと畠中社長。そこで生まれた余力で、次の「挑戦」に備えたいと語っています。

特集企業のターニングポイント

パソコンスキルを学べる作業所を開所したきっかけは、障がいを持つ家族の就労支援を行うため、自身の強みであるWEB/ノウハウを生かす方法を考えた末の事でした。今後も枠にとられない新しい発想で事業に取り組めます。

株式会社 Aveire

本社 / 堺市堺区東雲西町3-1-30-203 ☎072-343-1164

- 設立 / 2012年創業 2019年設立
- 資本金 / 500万円 ● 従業員数 / 9名
- 事業内容 / ホームページ制作やWEBシステム開発、販促事業、就労継続支援B型事業所の運営、清掃事業




株式会社 Aveire ホームページ
同社さかせる掲載ページ



WEB制作からコンサルティング事業まで行う同社社内風景。

1 産業 DX 支援センター事業

～本当に経営効果のあるデジタル化・自動化と一緒に考えませんか～

デジタル技術を活用した既存事業の新たな価値創造や新規ビジネスの立ち上げ、経営にかかる各業務効率化、デジタル人材養成などを支援するため、専門家による相談窓口(WEBを含む)を開設し、助言やロードマップ(提案書)作成などを行います。

利用料は
無料



デジタル化・自動化などにより営業力強化や業務効率化を考えている堺市内の中小企業

申込みはこちら→



相談から導入までの流れ

相談窓口(随時)

最初に相談申込書をお送りください。窓口相談は、日程調整の上、実施します。相談についてはWEB面談も活用します。

オンライン・現地コンサルティング

エキスパートが現状把握し、診断の上、課題解決できるシステムを企業と二人三脚で検討します。

ロードマップ(提案書)作成

エキスパートがシステム導入までのロードマップを作成します。企業の実情に合ったシステムの仕様を複数提示します。

ベンダーマッチング

作成したロードマップをもとに、主に堺市内でシステム提供ができる企業を必要に応じてご紹介いたします(紹介無料)。

過去の事例

WEBによる情報発信を強化したい!!

自社のホームページに動画コンテンツと導入事例を掲載したい!!

見込み顧客に対して、製品の魅力を非対面で伝えたい!!

ECサイトからデータ取得し、製品製造までの一連の処理を効率化させたい!!

これらの課題はどのように解決されたのでしょうか?

続きはこちら→



2 デジタル経営診断ツール「堺DX診断」の導入

今年度は、市内事業者が自社のデジタル化状況を把握するため、デジタル経営診断ツール「堺DX診断」を導入し、デジタル化やデジタルトランスフォーメーションに取り組むきっかけ作りをサポートします。また、集計されたデータを分析し、事業者のニーズに合わせたセミナーなども開催予定です。

8月1日(火)
スタート
予定

3 堺市中小企業デジタル化促進補助金

～堺市内の中小企業がデジタルツールを活用し、生産性向上に取り組む費用の一部を補助します～

補助対象事業	補助率	補助限度額
デジタルツール※を活用して、将来にわたり継続的に自社業務の成長・発展を図る補助事業	2分の1以内	100万円

続きはこちら→



※本事業においては、「デジタルツール」とは、IoT、AI、ロボット、RPA、ソフトウェア、クラウドサービスのことをさします。
※ホームページ・ECサイトの制作やSEO対策、SNS活用、動画撮影、編集などにかかる経費は補助対象となりません。

募集期間 令和5年 7月3日(月)～9月29日(金)

「さかしる」de Challenge!



「さかしる」って、なに?

国が公開している企業のオープンデータ※をもとに、堺市内に本社などを構える約24,000社の法人企業情報を掲載し、市内企業が**自ら情報を入力・公開することが可能**となるオープンデータポータルサイトです。

※国や地方公共団体・事業者が公開したデータで、「誰もが利用(加工・編集・再配布など)できること」「営利・非営利に関わらず二次利用が可能であること」「機械判読できること」「無償で利用できること」といった条件が定められたものです。



さかしるの詳しい情報と登録方法は
こちら

「さかしる」登録方法

1 G Biz IDを取得します。

右下のQRコードから国に申請し、G Biz IDを取得してください。G Biz IDを持っていると、さまざまな行政サービスへのログインが簡単になります。

G Biz IDの手続きはこちらから→



2 「さかしる」のマイページにログインします。

G Biz IDとパスワードを入力して、「ログイン」をクリック。マイページを開きます。

3 画像や情報を入力し、「登録確認」を押して完了です。

マイページの入力画面で、画像やアピールしたい情報を入力したら、必ず最後に「登録確認」を押して完了させてください。

「さかしる」活用メリット

自社の**ウェブサイト**がなくても**無料で**、**会社概要や製品などの企業情報が発信**できます。

自社のウェブサイトを持っている堺市の企業は約1割。
「さかしる」のマイページをウェブサイト代わりに。

ネットでの情報収集が当たり前の今の時代、検索されて出てこないと、その企業は存在しないのと同じ状態です。

ウェブサイトの制作や運営・管理には費用がかかりますが、「さかしる」なら**無料**。しかも、**入力方法も簡単**なので、すぐに情報を発信できます。

自由な表現で企業や製品のPRができます。

所在地や代表者名、事業内容などの会社概要だけでなく、事業内容やセールスポイントを**自由記述で詳しく紹介**できます。ぜひ自らの表現で力強いメッセージを発信してください。

画像でしっかりアピールできます。

3点まで画像の掲載が可能です。製品写真や製造風景など、自社の強みを紹介できる画像を必ず掲載しましょう。文章だけでは伝わらない企業や製品の魅力をアピールできます。



※登録画面はイメージです。



堺で「しごと」に出会う場所！！「さかいJOBステーション」



“さかいJOBステーション”は、15～39歳の若年者、全年齢の女性、デジタルスキル(ITパスポート資格)を有する方を対象とした「堺で働く」ための総合支援施設です。

さかいJOBステーションは、今年5月に堺市産業振興センター1階(中百舌鳥駅前)でリニューアルオープンし、市内企業の採用活動や従業員の定着支援など、これまで以上に企業支援に取り組んでいます。

新たにデジタルスキルを有する求職者を支援する「デジタル人材ステーション」を設置するほか、7月からは企業から求職者にアプローチできる「さかいJOBスカウトシステム」も開始し、求職者と市内企業とのマッチング強化をめざします。

さかいJOBステーション
ホームページ



あなたの“働く”をまるごとサポート！

さかいJOBステーション

0120-245108

堺ハローワークコーナー 職業相談・職業紹介



企業人材マッチング支援プラザ Company Talented Person Matching Support Plaza

採用支援サービス

- ・オリジナル求人企業情報カードの作成
- ・求職者との交流イベント「Good JOB!! in さかい」の実施



- ・合同企業説明会の優先案内と情報提供
- ・さかいJOBステーションHPへの情報掲載

定着支援サービス

- ・新入社員研修の提供
- ・人事担当者向け採用セミナーへの参加

デジタル人材ステーション **新設**

- ・デジタルスキルを持つ人材とのマッチング支援

堺優良従業員・堺技能功労者表彰の募集

堺商工会議所と堺市では、優秀な従業員・功労ある技能者を顕彰するため、表彰を実施します。対象となる従業員・技能者を、7月3日(月)から8月1日(火)までに同会議所へ推薦してください。※審査がございます。表彰対象者は次のとおり。過去に(2)(3)は過去5年以内に)同表彰を受けた方は対象外です。

▶堺優良従業員表彰

- ①永年表彰(10・20・30・40年表彰(以降10年毎に表彰))=勤続年数が10年以上で、企業の業績に貢献した方や成績が特に優秀な方 ※10年毎であれば、同一従業員の複数回受賞が可能。
- ②功労者表彰=総務・製造・販売等各部門で特に功労があり、企業の業績に貢献した方や他の従業員の模範となる方。
- ③産業ルネサンス表彰=独創的なアイデアや新しいソフト等により、地域振興、地域経済の再生・発展に著しく貢献された個人又はグループ。

▶堺技能功労者表彰

堺市内で勤務し、15年以上同一の職に従事している方で、技術の研鑽や後進の指導育成に努め、優れた技能が他の模範と認められ、業界団体等から推薦をうけた方。

推薦登録料 1名(グループ) 3,300円。

表彰式 10月5日(木) ホテルアゴーラリージェンシー大阪堺

詳しくは同会議所ホームページをご覧ください。下記連絡先までお問い合わせください。



お問合せ先 堺商工会議所 (TEL: 072-258-5581 FAX: 072-258-5580 ホームページ: <https://sakaicci.or.jp/>) か 堺市雇用推進課 (TEL: 072-228-7404 FAX: 072-228-8816)

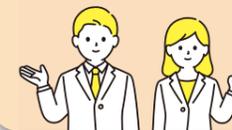
中小企業を全力応援 公益財団法人 堺市産業振興センター

堺市産業振興センターでは、経営相談や技術開発支援、各種セミナーなど研修に関する事業、堺市内中小企業に対する融資関連事業、地場産業の紹介・製品展示・販路開拓に関する事業、情報誌やホームページ・メールマガジンなどによる産業情報発信、福利厚生事業、イベントホールや会議室などの貸出事業と多種多様なサービスでビジネスをサポートしています。

〒591-8025 堺市北区長曾根町183-5
TEL: 072-255-3311(代) FAX: 072-255-5200
<https://www.sakai-ipc.jp/>



●南海高野線中百舌鳥駅より約300m ●Osaka Metro御堂筋線なかもず駅より約300m ※駐車場は、隣接の来客用駐車場(無料)がございますが、できるだけ電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。



INFORMATION 堺市産業振興センターからのお知らせ

堺市産業振興センター 新コーディネーターのご紹介



堺市産業振興センターでは、中小企業の皆様の経営課題の解決を大手企業や公設試験研究機関の経営豊富なOBがコーディネーターとしてお手伝いしています。新たな仲間として加わったコーディネーターをご紹介します。

森本 浩臣 (もりもと ひろおみ)

※主にDXへの支援を担当しています。

【専門分野】 DX、補助金、業務効率化、経営全般、生産性向上、M&A

【資格】 中小企業診断士・情報処理技術者・1級販売士・経営心理士・TAM・事業承継マネージャー・バトンス認定アドバイザー

【一言】 DXは一日にしてならず。堺市の企業者様のDX化に貢献できるよう頑張ります。

令和5年度 中小企業経営学舎のご案内

～「どこから見ても誰から見てもいい会社」のつくり方を学ぶ講座～

中小企業経営学舎は、八方よし※1を実現する会社を「いい会社」と定義し、最終的にはどこから見ても、だれから見てもいい会社の基礎を作ることを目標に令和元年度以降開催してきました。本年度は親睦会を開催し、様々な業種の企業様と交流を図っていただけます。

※1 八方よしとは、1社員、2社員の家族、3取引先社員、4取引先社員の家族、5お客様、6地域・社会、7経営者、8株主を指します。

特に、いい会社づくりを先んじて実践しているモデル企業を訪問もしくは経営者による講話により肌感覚で学べる機会と経験・知見を豊富に持つ講師(「人を大切にする経営学会」会長 坂本 光司氏他)によるレクチャーの機会を用意し、いい会社をつくる為の「あり方」と「やり方」の両方をバランスよく習得できるプログラム構成となっており、3年間受講し所定の基準をクリアした企業を「堺の大切にしたい会社」として認定し、そこから更に日本でいちばん大切にしたい会社大賞※2を受賞できるレベルのいい会社づくりを目指していただきます。

※2 日本でいちばん大切にしたい会社大賞 <https://www.htk-gakkai.org/a0013/MyHp/Pub/>



別途、受講企業の個別フォローや補講も用意し、いい会社づくりに向けた取り組みの徹底したサポートを行います。開講は9月下旬～10月上旬頃、受講者の募集は8月上旬頃開始予定です。講座への申し込み及び講座詳細は本年度の講座内容が確定次第ホームページに掲載します。前年度実施した講座については下記から確認いただけます。

令和4年度講座 <https://www.sakai-ipc.jp/bizsupport/humanresources/mondai/r4.html>



堺の大切にしたい会社認定
Sakai City Industrial Promotion Center

お問合せ先 公益財団法人堺市産業振興センター 経営支援課
TEL: 072-255-6700 FAX: 072-255-1185 Email: keiei_shien@sakai-ipc.jp

福利厚生制度のご案内

～コストを抑えて、豊富なサービスが利用できます～

市内事業所で働く皆さまに、福利厚生サービスを非営利で提供します。慶弔給付や健康診断補助をはじめ、宿泊補助、ゴルフ場利用補助、各種チケットや商品の割引あっ旋など、余暇活動も幅広くサポートしています。また民間福利厚生代行最大手ベネフィット・ワンが提供するベネフィット・ステーションのメニューもご利用いただけます。従業員満足度の向上や、働きやすい環境づくりにお役立てください。

●入会金: 500円/人 月会費700円/人

●入会対象: 堺市内に事務所・店舗・工場等がある従業員数300人以下または資本金3億円以下の事業所

●入会形態: 事業所単位

お問合せ先 堺市産業振興センター 勤労者福祉サービス課(愛称: SCKサービスセンター)
TEL: 072-255-1515 FAX: 072-255-5151 ホームページ: <https://www.sck.or.jp> Email: kousei@sck.or.jp

お問い合わせ
フォーム



SCKキャラクター
エッシーくん



この企業にこの人あり!

社会福祉法人 美木多園

代表者名/理事長 西尾 正敏
 本社/堺市南区美木多上1277-1
 TEL/072-296-1222

- 設立/1983年
- 従業員数/220名
- 事業内容/特別養護老人ホーム、老人保健施設、グループホームの運営



(福)美木多園
ホームページ



同園さかしの
掲載ページ



ボランティアによる書道や押し花、絵手紙など多彩な教室活動。

地域にあるこども園の園児が訪問し合唱を披露。



利用者の家族の相談事にも親身になって答える同園の生活相談員。

季節の生け花や絵画が鑑賞できる、まるでホテルのような特別養護老人ホームのロビー。



美木多園の人材戦略

業務の細分化で多様な人材の受入れを実現

外国人や介護に直接携わらないスタッフなど多様な人材を受入れ、週2日4時間勤務といった多様な働き方を実践しています。具体的には、すき間時間で働きたい方を生活サポーターとして活用し、介護職が専門業務に集中できるようになりました。また、このシステムのために業務を細分化したことで現場全体の効率化が図られています。

一方、施設運営においては、中間管理職の業務が課題となっていました。それを解消しようと、西尾理事長自らが昨年度から中間管理職研修を実施しています。これまでも独特な発想で事業を運営してきた西尾理事長が着目したのは、航空分野で開発された「クルー・リソース・マネジメント※」です。

航空分野で開発された マネジメント手法で独自の研修

多いうこと、広々とした浴室の方が気持ち良いからという理由。府営住宅の1室を、談話スペースにも備えた大きな浴室に改装しています。そこに事務所を置くことで、職員が利用者顔を合わせる機会を作るなど、自然な形で生活支援を実現しました。美木多園として自治会にも加入。当事業と利用者が地域に快く迎えられるような配慮も行われています。

うです。各室にトイレはあるものの浴室がないのは、高齢者に入浴中の事故が多いこと、

「前例や常識にとらわれない 独創的な発想で新事業の立ち上げも」

暮らし慣れた街に住み続けるための
生活支援住宅を提供

地域に根ざした事業でこの街に貢献したいという思いから、1983年に設立された美木多園。現在は特別養護老人ホームや老人保健施設、グループホームの運営を行っています。なかでも全国的に珍しく、独創的な事業が「高齢者生活支援住宅」です。

府営住宅の空室を借り上げ、高齢者が暮らしやすいように改装した住宅を提供するもので、長期の居住だけでなく一泊二日からの短期の利用も可能です。発案者である西尾正敏理事長に、その意図を伺いました。

「ハードとしての高齢者施設を次々作り続けることには無理がありますし、安全のためにある程度自由を束縛せざるを得ない施設暮らしが、全ての高齢者にとって良いことだと考えていません。介護は必要ないけれど、生活に少し不安のある高齢者を対象に、暮らし慣れたこの街に住み続けてもらうための住居を提供しています。改装にあたっては、福祉の視点から建築を研究している大阪府立大学（現在の大阪公立大学）の先生たちと共同考えました。」

社会実験的な前例のない事業に 国や自治体からの見学も

前例がなく、社会実験的な側面もあったため、改装のための補助金を申請した国土交通省にも最初は理解されなかったとか。ところが、2011年に本事業が始動すると、国土交通省をはじめ、大阪府などの自治体から多くの見学があったといいます。老朽化した府営住宅の活用事例としても興味を持たれたよう

「PPDCAサイクルで回せと言われてますが、それでは悠長なんです。現場で今起こったことに一人ひとりがどう対応できるか。航空機では操縦士と副操縦士は対等の責任を負っているそうです。介護の現場も上司だけでなく職員がそれぞれに自分の役割と責任を果たすべきで、そのためには管理職は管理に徹して、現場のことは職員に任せるようになっています。」

特別養護老人ホームの林秀学副施設長は「この研修で学んだことを現場の職員たちとも共有し地固めしているところです。全ての職員が同じ方向を見て、一人ひとりの能力を発揮し役割を果たしてこそ、良い介護ができるのだ」ということの理解が進んでいるように思っています。

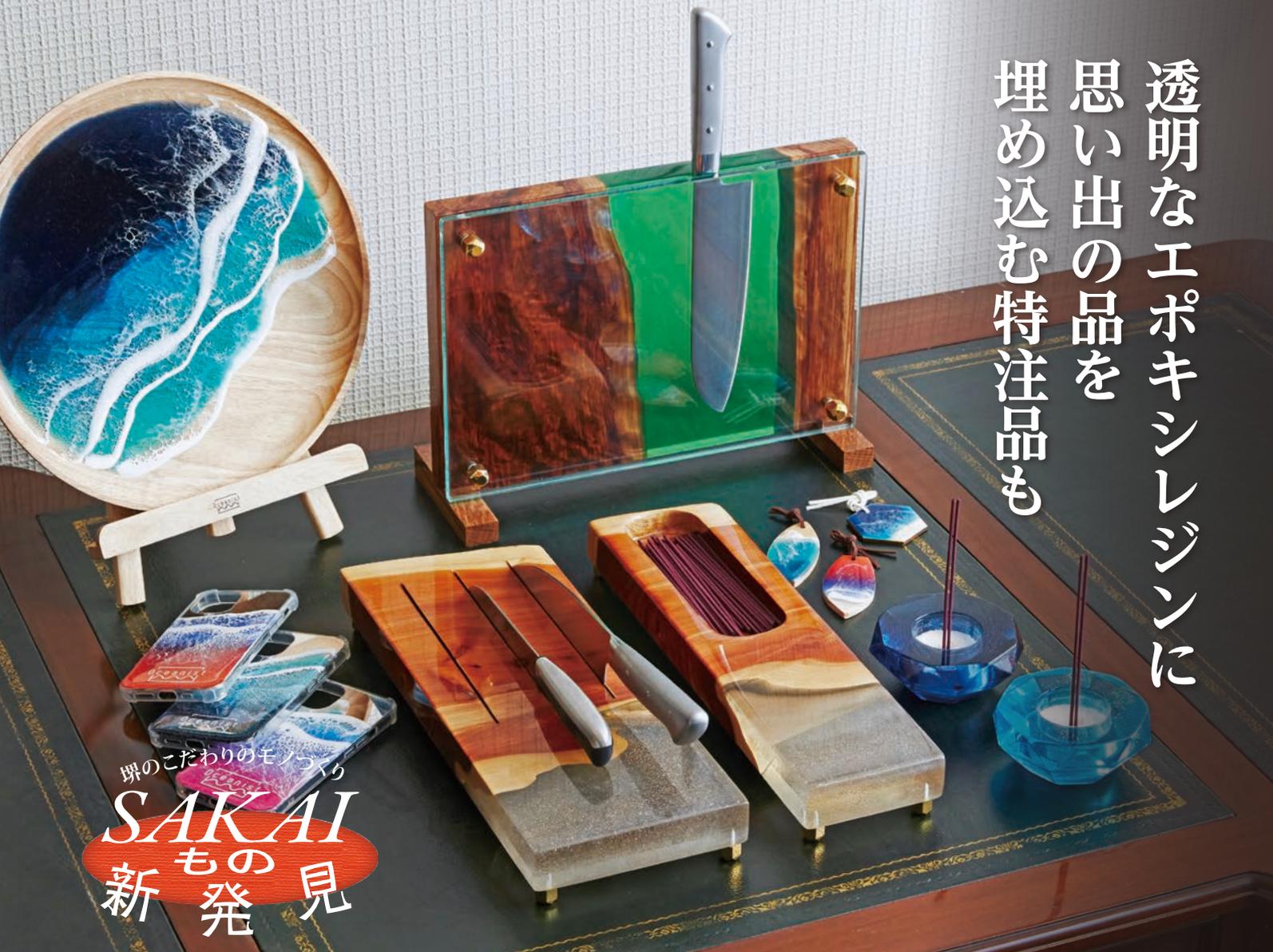
業務改善会議で職員たちからさまざまなアイデアが発せられることも増えたと西尾理事長。独創的なマネジメントが効果を発揮し始めています。



社会福祉法人 美木多園
理事長 西尾 正敏 さん

※クルー・リソース・マネジメント…航空機の安全で効率的な運航のために、利用できる人的資源を効果的に活用しようという概念。

透明なエポキシレジンに
思い出の品を
埋め込む特注品も



透明感のあるエポキシレジンと木材のコンビネーションが魅力的な包丁立てと線香入れ。Fullcolor株式会社が堺らしいものをとサンプル的に制作し、今年2月の「第95回東京インターナショナル・ギフト・ショー」へ出品したものです。会場では人気を集め、何社かと商談があったほか、堺まで訪ねて来たバイヤーもいたといいます。今後ギフト市場を積極的に開拓したいと語る内園茂雄社長。この反響に大きな手応えを感じたようです。

一級建築物塗装技能士と塗料調色技能士の資格を持つ内園社長が塗装業のほかに、エポキシレジンを使った家具や雑貨の制作をスタートさせたのは3年前。海をモチーフにした作品が多く、エポキシレジンの中に貝殻やサンゴといった自然のものを埋め込んだものを天板にしたテーブルなども制作しています。最近では、母の好きな花を埋め込んでほしいという特別注文を受けたのをきっかけに、花をモチーフにした作品も手掛け始めました。「エポキシレジン自体は珍しい材料ではないので、人がやっていないような製品づくりを目指したい」と、工業系大学との連携を視野に新たな作品作りを構想しています。



Fullcolor株式会社

代表者名／代表取締役
内園 茂雄
本社／堺市中区大野芝町75-1
(ギャラリー&カフェは76-22)
TEL／072-343-0649
●設立／2018年
●資本金／500万円
●従業員数／1名
●事業内容／各種塗装工事、リノベーション、ウォールアート、家具・雑貨の制作・販売
2023年6月末～9月末頃まで
堺市産業振興センター1F「さかいモノてらす」で展示予定



↑同社ホームページは8月開設予定



同社さかsher掲載ページ

中小企業を
全力応援



公益財団法人

堺市産業振興センター

〒591-8025 堺市北区長曾根町183-5
TEL:072-255-3311(代) FAX:072-255-5200

